

「ヒヤリ・ハット」体験事例

令和元年8月～令和2年7月

分類：収集運搬
事故の型：転落・転倒

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	一般道路	運転中	対向車とすれ違う時、側溝に転落しそうになった。	対向車が見えた際に減速する。
2	一般道路交差点	トラック運転中	赤信号で左矢印が出ていて左折しようとした時、前方の車は直進だったため停車していたのでよけようとしたらトラックが転倒しそうになった。	慣れている車は右寄りに停車するが、左寄りに停車している場合は注意する。
3	取引先現場	運搬車両荷台上で、チップ飛散防止シートを外そうとしている時	強風によりシートがあおられ、荷台から墜落しそうになった。	風の状況を確認し、上に登りシートを引っ張り、下におろしてからシートをたたむ。荷役作業時に安全帯をかけられる場所を設置する。
4	自社駐車場	車を乗り換える時	洗車場と、駐車場の段差で足のつま先が引っ掛かり転倒した。	いつものことで気付かなかったが、改めて確認すると少しの段差があったので注意する。

分類：収集運搬
事故の型：衝突・接触

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	工場内	トラック運転中	計量台の上に軽自動車に乗っている時に、道路入り口付近からバックで計量台に乗ってきた大型トラックが軽自動車に気付かずにもう少しで接触しそうになった。	ドライバーには下車して後方を確認するよう指示する。
2	一般道路	乗用車運転中	ループ橋を下っている時、路面がぬれていたためスリップして対向車と衝突しそうになった。	雨天時はワイパーを作動させても視界が悪くなるので前方車に注意する。路面がぬれていれば、下り坂は特に注意する。
3	一般道路	大型トラック運転中	となりの乗用車が急に車線変更してきて、激突しそうになった。	時折、前方の信号が赤にかわる時、あわてて右折車線に割り込んでくることがあるので注意する。
4	一般道路	大型トラック運転中	工事で車線が減少していて、ものすごいスピードで来た乗用車が急に車線変更してきたので激突しそうになった。	直線についてスピードを出す車は慌てて前方に割り込んでくるので注意する。
5	一般道路	大型トラック運転中	車線幅が狭い橋を大型トラックで走行中、対向車(大型バス)がきて、もう少しで接触しそうになった。	車線幅が狭い橋では特に注意し、二輪車がいればさらに注意する。

6	コンビニ駐 車場	駐車場にトラックを 止める時	駐車場にトラックを止める為、周囲を 確認していたら、軽自動車バックし てきたため、先に軽自動車をバックさ せようと思い停止していたら、軽自動 車が自社トラックに追突してきた。	軽自動車がバックしてきても、当たら ない距離を取る。
7	取引先現場	トラック運転中	トラックで走行していたら、前に散水 車が走っていて横に寄ったので追い 越そうとしたら対向車が来て接触し そうになった。	対向車がなく、直線の場所で追い越 す。
8	交差点	信号待ちをしてい る時	信号が青になったので進もうとしたら 右折レーンから突然割り込んできて ぶつかりそうになった。	発進する時にミラーで確認する。
9	工場内	ホイールローダーで ダンプトラックに積 み込みしている時	積込作業中のホイールローダーが後進 しようとした時、すぐ後方を他のダン プトラックが通過し接触しそうになっ た。	カラーコーン等で作業範囲を明確に し、他の車両が進入してこないよう にする。
10	コンビニ駐 車場	車をバックしている 時	歩行者が突然横切ってきた。	確認をしっかりとる。
11	一般道路	運転中	狭い山間部の道で、前方の車両が、 合図なしで急にブレーキを踏んだの で、追突しそうになった。	山間部の狭い道では、車間距離を十 分にとって、下り坂はスピードを控え 慎重に運転する。
12	高速道路降 り口	大型トラック運転 中	高速道路降り口のカーブで、減速が たりず、側壁に接触しそうになった。	空荷であっても高速道路本線から降 りる場合は下りでカーブになっている ことが多いので減速の徹底を行う。
13	高速道路料 金所	中型トラック運転 中	高速道路料金所の合流地点で、乗用 車と接触しそうになった。	本線と減速車線では制限速度が変 わるので注意する。植木等で死角が できるので注意する。
14	一般道路	収集作業後にパッ カー車に戻る時	確認をしないで車道に出て歩行者・ 自動車と接触しそうになった。	車道に出る時は歩行者・自動車を確 認して行動する。
15	一般道路	運転中	見通しの悪い通路で直進バイクの通 行があり接触しそうになった。	一時停止の確実な実行、確認をす る。
16	一般道路	収集運搬中	団地内交差点で子どもが急に飛び出 してきた。	団地内は、最徐行する。
17	一般道路	運転中	指示器を出さず横を確認しないで割 り込んできた。	危険を知らせるためクラクションを鳴 らす。

18	取引先現場	一般ごみ収集中	運転中に、脇道から車が飛び出してきた。	いつ、車や人が飛び出てくるかわからないので、慎重に運転する。
19	交差点	トラック運転中	左折しようとしたら、トラックの横を単車がすり抜けようとしてきて、もう少しで単車を巻き込みそうになった。	二輪車は信号待ち時は一般車より前方に停止するので目につくが、走行時には慣れない二輪車は左折車線から直進する場合があるので気を付ける。
20	一般道路	運転中	横から車が飛び出してきた。	飛び出してくるかもしれないと思いながら、運転する。
21	交差点	トラック運転中	交差点で右折しようとしていたら、前方の車が赤信号で直進してきて接触しそうになった。	前の車が赤信号で停止しても追い越して赤信号を強行直進する危険車も想定して運転する。
22	一般道路	運転中	運転する車の前を無灯火の自転車が道路を横断した。	こまめにヘッドライトを上向きにして確認する。
23	高速道路料金所	大型トラック運転中	ETC専用レーンを通過する時に、前方の乗用車がカードを忘れてバーが開かず、激突しそうになった。	日頃から初心者高齢者マーク付き車両等に注意し車間距離を十分にとる。
24	高速道路	トラック運転中	高速道路出口とパーキングエリア入口の分岐点で、一瞬迷って中央分離帯に激突しそうになった。	いつも利用しているからと油断せず、他車にも注意して走行する。
25	取引先現場	吊り荷作業中	吊り荷(自由勾配側溝)を移動させている時、吊り荷が揺れて自分の方に来て接触しかけた。	せまい場所でも吊り荷との距離をとる。旋回範囲内での作業立入禁止を徹底する。
26	一般道路	大型車運転中	高速道路を降りて本線に合流してすぐに一番右の車線へ行く時に、後方からきた乗用車と接触しそうになった。	前方下り坂であり、前方の信号が青の場合右手後方よりスピードを上げて進入してくるので、十分に注意する。
27	ホテルの駐車場	運転中	バックで駐車する時、倉庫のとゆにトラックの後部が接触し、とゆが壊れた。	バックする時は上下左右を確認する。
28	高速道路	大型車運転中	高速道路合流地点で本線を走行中に軽自動車がトラックに気付かず本線へ進入してきて、もう少しで接触しそうになった。	本線優先でも時として、初心者、高齢者又はうっかり運転車両があるので十分注意する。
29	取引先現場	コンテナ入替作業中	トラックに付いている移動式クレーンが後方に格納されているのに気付かずコンテナを脱着しようとして、もう少しでコンテナと移動式クレーンが接触しそうになった。	少しの移動だからと安易に考えてブームを伸ばしたままにし上空の電線を切断したとは聞くことがあるので初心励行。

30	一般道路	運転中	右折レーンにいる車が走行車線に飛び出してきた。	前方をよく見る。
31	一般道路	運転中	コンビニの駐車場に入場する時、左折で入場しようとしたら前方から退場車両が飛び出してきて前方に割り込まれる形になり急ブレーキとなった。	前方車両との距離の確保、前方車両の動きを余裕をもって確認する。
32	取引先現場	4tフックロール車でコンテナを引き上げている時	コンテナ設置場所が傾斜していて、軟弱な場所だったためコンテナが転倒しそうになった。	設置場所の状況をよく確認し慎重に作業するようにする。

分 類 : 収集運搬

事故の型 : 飛来・落下

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	取引先現場	事業系一般可燃ごみ収集時	台風の影響で風が強くて、桶が飛んできて車に当たりそうになった。	台風の接近中は、外での作業は控える。
2	取引先現場	手積み作業中	コンテナに荷物を積んで出発しようとしたら、コンテナの底の一部が腐食して穴があいていて、そこから荷物が落下しそうになった。	積込をする作業員がドライバーへ報告するよう指示をする。工場へ搬入後、荷下ろしした時に点検を徹底。ポディー内外ヒンジ丁番ロック機能の確認。
3	取引先現場	シート掛け作業中	トラックに積んでいるシートをかけていたら荷物が盛り上がりすぎていて、シートの長さがたらずにすき間から荷物が飛散しそうになった。	走行中飛散しそうなのは、積み直す、次回搬出に積み残す、シート+ロープで補強する等措置をする。
4	取引先現場	草刈機で庭の草刈り作業中	石が撥ねて顔に当たった。	石等が、撥ねてきてもいいようにマスク等のカバーをする。
5	取引先現場	資源ごみBOX回収時	資源ごみBOXを車に積もうとしたときに、風にあおられBOXが落下した。	今までは、資源ごみBOXを5段で積み込みしていたので、2段、3段に分けて積み込む。
6	工場内	リフマグ油圧ショベルでスクラップをトラックに積み込みしている時	マグネットで吸着していたスクラップが落下し、地面で跳ねてリフマグ油圧ショベルのキャビンにあたった。	リフマグ油圧ショベルでスクラップをトラックに積み込む際には、地切りして落下しないか確認してから積み込む。
7	一般道路	廃棄物運搬中	廃棄物がシートとの隙間から飛散しそうになった。	コンテナに積みすぎないようにする。安全な場所で、積載状況を必ず確認する。

分類：収集運搬

事故の型：挟まれ・巻き込まれ

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	工場内	移動式クレーンで作業中	ゆるやかな坂でトラックに荷物を積み、アウトリガーを格納した時、車がゆっくり動き出したので慌てて、サイドブレーキを引き、止めた。	サイドブレーキの引きの確認の徹底、指差呼称する。
2	取引先現場	手積み作業中	木製のケーブルドラムを転がしてコンテナへ積み込みしていた時にケーブルドラムとケーブルドラムの間に指を挟みそうになった。	手元、足元、目先を常に確認し、あわてない。コンテナを降ろす際は、水平であるか、転がり出さないように前勾配とする。
3	取引先現場	ごみ収集中	手を挟みかけた。	注意して積む。

分類：収集運搬

事故の型：その他

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	取引先現場	荷締め作業中	荷物がコンテナより盛り上がっていたので、帯のヒツパーで荷締めをしようとしたら、反対側の帯が外れて飛んで顔に当たりそうになった。	締具の日々点検と使用前点検励行、仮締め後チェックをして本締めを行う。
2	取引先現場	シート掛け作業中	4tコンテナにシートをかけている時、木くずがコンテナから外側へ飛び出していたのに気付かず、顔を切りそうになった。	木くずのみならず、釘、ビスも目に付きにくいので、十分に注意する。
3	一般道路	廃棄物運搬中	下り坂で突然ブレーキがきかなくなった。	長い下り坂ではエンジンブレーキを使用する。下り坂ではペーパーロック現象になるかもしれないと思い運転する。
4	取引先現場	汚泥吸引作業後、処分場への出発前	吸引車のタンクが満タンになり吸引管バルブを閉め真空状態を解除した際、吸引管から汚泥が漏れ、床面に広がりそうになった。	ボールバルブとシールの作業前点検と、清掃及び定期的な交換の実施。走行前には、静止弁の使用と視差確認の徹底。
5	一般道路	ゴミ回収中	サイドブレーキが甘く、車が動いた。	サイドブレーキをしっかり引く、確認をしっかりする。

6	一般道路	運転中	前を走っていた自転車が急にバランスを崩して道路に倒れてきた。	かもしれない運転を心掛ける。
---	------	-----	--------------------------------	----------------

分類 : 中間処理
事故の型 : 転落・転倒

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	工場内	重機から正面向きで、降りる時	片足が滑り転倒しそうになった。	重機の乗り降りには、基本を守り、基本通り三点支持で、運転席側に向けて乗り降りする。
2	工場内	4tリフトで箱型コンテナを運搬している時	箱型コンテナを目の高さまで上げ走行している時、道の陥没部分で転倒しそうになった。	リフトの重心を下げる。道路の整備をする。
3	工場内	硬プラを圧縮梱包機に投入している時	ゴミがあったので取り除こうとベルトコンベアの上に乗った時、パイプが上からすべり落ちてきて避けようとしたら転倒しそうになった。	ベルトコンベアの上には乗らない。もし乗らなければいけない時には必ずベルトコンベアを停止させてから乗る。
4	工場内	フォークリフト運転中	フォークリフトで小型コンテナを二段に積んで運んでいる時、道がへこんでいて上段のコンテナを倒しそうになった。	コンテナは積んで運ばない。道の補修をする。
5	工場内	フォークリフトで荷物を移動中	アスファルト舗装部分の穴に前輪タイヤがはまり込み、荷物が大きく揺れてびびりした。	舗装の破損部分の早期補修、重機キャタピラにおける繰り返し破損対策、フォークリフトでの移動は低速徹底。

分類 : 中間処理
事故の型 : 衝突・接触

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	工場内	混廃選別場所で、ごみの分別作業時	重機で長物金属くずをつかんで、移動させようとした時、近くにいた作業員に当たりそうになった。	重機にて作業する人が、ごみの大きさ、長さを確実に把握し、周囲の作業員に離れるように注意を促し作業する。
2	工場内	油圧ショベルで作業中	油圧ショベル旋回時に、後方にいた作業員が近寄ってきたのに気付かず衝突しそうになった。	オペレーターは作業に集中しがちなため、常に周囲の安全確認をしながら作業するように心掛ける。

3	工場内	フォークリフト運転中	後方を見ずにフォークリフトでバックしていたら、工場内に入ってきたトラックと接触しそうになった。	周りをよく見るよう心掛ける。
4	工場内	荷下ろし車両を誘導している時	誘導者が荷下ろし場所を施設内の重機オペレーターと連絡を取りながら誘導を行なっている時、車両の死角に入ったため接触しそうになった。	事前に荷下ろし場所を確認し、運転席から見やすい場所で誘導する。
5	工場内	2tコンテナ車をバックで移動中	日光で後ろが見えない状態でバックしていて他車にぶつかりそうになった。	目視で確認し慎重にバックする。バックする時は誘導者をつける。
6	工場内	バックホー運転中	重量物をすくってあげる時、アームがほとんど伸びきった状態だったので機械が傾き、倒れそうになった。	無理な姿勢にならないように仕事場を整理する、足場の整理をする。
7	工場内	重機を使って作業している時	後方から近寄ってきて話しかけられたのに気が付かず衝突しそうになった。	重機での作業は、常に周りに人がいないか安全確認しながら作業するように心がける。周囲が良く見える場所に重機を配置する等配慮する。
8	工場内	フォークリフト運転中	建屋から車両通行帯に出る時、死角から飛び出してきた車両と接触しそうになった。	車両通行帯に出る時は一旦停止を徹底し、資材等でさらに視界が悪い時には誘導員を配置して安全に運転できる環境を作る。
9	工場内	コンガラをバックホーで破碎機に投入中	一方で販売用再生骨材をバックホーにてお客様のダンプに積み込みしている時、旋回範囲が重複しており接触しそうになった。	積込作業は一時で短時間なので優先し、同時に作業を行わない。

分類：中間処理

事故の型：飛来・落下

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	工場内	混廃作業場で、展開した混廃を処理している時	他の作業者が近くで、フォークリフトのバケット内にある陶器をハンマーで破碎している時、破片が顔等に飛んできた。	ハンマーによる破碎作業の見直しを検討する。ガラス・陶器くず破碎作業手順の作成、保護メガネを必ず着用する。
2	工場内	ペットボトルラップ巻き梱包作業時	梱包済みペットボトルを壁際に2段積みにし、狭いスペースで、ラップ梱包作業を行っていたら、2段積みペットに肩が触れ梱包済みペットボトルが落下しそうになった。	上段の梱包済みペットをもう少し壁際にずらして積む、梱包済みペットボトルを保管できるスペース確保検討。
3	工場内	混廃を開けごみを選別している時	油圧ショベルで、塩ビをつかんでいたら、もろい塩ビだった為、掴んだ時に撥ねてしまった。	力加減により、割れて撥ねるかもしれないと、かもしれない意識で常に作業する。

4	工場内	機械を修理している時	斜め作業を行っている所で上から材料がすべり落ちてきて当たりそうになった。	使用する材料の固定、確認、身の回りの道具の整理をする。
5	工場内	ディスクグラインダーで鉄製の手すりを切削している時	足場が悪く、バランスを崩してディスクグラインダーが滑り、手元に刃先が飛んできてもう少しでけがをしそうになった。	作業をするスペースをまず確保しディスクグラインダーで切削する角度等を工夫する。
6	工場内	荷下ろし作業中	後あおりの片方のロックが錆びている状態でロックされておらず後ろあおりが落下した。足をひいていたため大事にはいかなかった。	ロックされているか目視確認をしてから後ろあおりの取外しを行う。その場で注油を行いロックされるように修理。搬入業者には車両のメンテナンスを行うよう注意を促す。
7	工場内	土砂かき出し作業中	風力選別機(ふるい装置)の堆積した土砂をかき出している時、上からガレキがはねてきて手に当たりそうになった。	厚手の手袋をして作業する。カバーを取り付ける。
8	取引先現場	枠付きガラス戸を割っていた時	ガラス破片が顔の近くに飛んできた。	保護メガネをしていたが、顔に飛んできくこともあるので、透明アクリル板等をつかって作業する。

分類 : 中間処理

事故の型 : 挟まれ・巻き込まれ

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	工場内	電動式丸のこでドラムを切断中	電動式丸のこの安全ロックを解除せずにロックを固定したまま使用し品物を切断中、手元がくるい手の甲を切ってしまった。	物に応じて道具を使い分ける。使用する前に安全確認をする。
2	工場内	4tトラックタイヤ交換時	タイヤ交換のためジャッキアップしていたら、ジャッキの掛ける位置が悪く、ずれて手が枕木とフレームの間に挟まれそうになった。	ジャッキの位置とずれを確認してから、枕木を入れる。
3	工場内	廃棄物を下ろそうと車両付近に移動した時	車両の運転手が自身に気付かずバックした為、車両と壁にはさまれそうになった。	誘導と確認を最後まで確実にする。
4	工場内	フォークリフト後部ステアリングにグリスアップをしている時	しゃがみこんで作業をしていたためオペレーターが気付かずにエンジンを始動させた。事故には至らなかった。	死角に入る作業をする場合には鍵を抜いておく。

分類 : 中間処理

事故の型 : その他

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	工場内	スクラップ分別作業中	スクラップ置き場にあるガスコンロ廃棄物からパチパチと火花が出ていた。	ガスコンロに電池が入ったままで廃棄されていたため電池をはずした。
2	工場内	ダンプトラックの荷物のシートを外している時	木くずに刺さっていた釘に気付かず、踏み抜いてしまった。	夕方暗くなってからの作業だったため確認不足だった。安全靴を履いていたため大事には至らなかったが暗い時の作業は照明のある場所で作業する。照明の数を増やす。